

ご挨拶

イヴ・アンリ ピアニスト/作曲家 ノアン フェスティバル ショパン イン フランス会長



私は、ユーロピアノが日本で「ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパン」としてピアノコンクールを開催し、フランスでの招待ピアニスト・受講者等を選考してノアンへ派遣して下さることに最大の敬意を表します。日本でピアノのレッスンをするようになって10年以上となりますが、今回この企画に私が携われることも最大の喜びでもあります。友人である戸塚会長およびユーロピアノの加藤社長をはじめ有能な皆様と共に、この「ノアン フェスティバル ショパン イン フランス」が2016年に50周年を迎える節目に華を添えていただいたことに感謝し、ともに成功のために努力を続けたいと思います。最後に日本の皆様への感謝の意を込めて。

開催の趣旨

戸塚亮一 ユーロピアノ(株)代表取締役会長/ピアノ史家



たくさんのピアノコンクールが開催され、そこに参加することで益々ピアノ演奏に励むという社会現象は歓迎されるべきことです。その結果に対する表彰として、賞金と名誉と演奏する機会が与えられます。商業主義のコンクールが多い中、賞金を増額して応募者を増やし、優秀なピアニストを輩出しようということも見られます。弊社のような小企業が、今までの約30年に及ぶ活動の延長線上にコンクールを主催すると、意義がどこにあるのかを考えて、イヴ・アンリ教授の協力のもと、2年に1度ということで2018年、第2回の開催となりました。第1回の成果を参考にし、コンクールにとって何が有益でかつ魅力的であるか、更に追及して参ります。

①当コンクールの表彰は、一過性の賞金ではなく、作曲家「ショパン」という人物と作品を通じて、日本人ピアニストが海外ピアニストや海外からの受講生と、フランスという地で交流を図る機会を提供する意味が込められています。

②当コンクールで受賞できなかった方々の為に、希望者を募り「ノアン フェスティバル ショパン イン フランス」の見学ツアーの計画を予定します(別途有料)。またコンクール参加者一人ひとりへ審査員であるアンリ教授から演奏に対する簡単なコメントをお渡しします。私達はこのような活動を通じて、コンクールの結果に一喜一憂するだけではなく、<本当の>ショパンファン、ピアノファンを育てようと考えております。

③日本人が特に忘れがちな、ピアノそのものに関心を持っていただきたいと存じます。ショパン→ブレイエル→ベヒシュタイン とピアノの持つ個性が影響し引き継がれております。他のピアノにはそれがほとんどありません。このコンクールに応募する、しないにかかわらず、弊社・ドイツピアノ製造マイスター・加藤正人の文章をご精読いただければ幸いです。このようにピアノそのものにまつわる歴史を理解してから弾くショパンは、知的好奇心が満たされ、演奏そのものが益々楽しくなることでしょう。

当コンクールでベヒシュタインを使用する意義

加藤正人 ユーロピアノ(株)代表取締役社長/ドイツピアノマイスター



ショパン存命中に製造されたブレイエルを初めて調律したとき、響きが鮮明ゆえ、同時に鳴るそれぞれの音の認識、打弦タイミングのズレが明確に聞こえ、指先に感じるハンマーの打弦と、響きの鮮明さの両方が、まるで指で弦を直接かき鳴らしているような錯覚さえ覚えさせているようで、「響きの鮮明さ」に驚かされた。この時「ショパンは体調の良い時にはブレイエルを好み、体調がすぐれない時はエラーを弾いた。」という言葉の意味が理解できた。ブレイエルのヒストリカル楽器でピアノの名手による演奏を聴くと、音楽のダイアログ(対話)が見事に表現されているのが聴き取れる。

ショパン自身がブレイエルでの演奏を好んだ理由はここにあるのだろう。伴奏部分の音の重なりが背景の色彩を作り、その響きの色彩の中に浮かぶ旋律によるダイアログを表現しやすいピアノが間違いなくブレイエルだった。ブレイエルは鮮明な響きを実現するため、響板裏面にブリッジ(表面の)に並行して貼り付けられるメインリブ構造を採用している。当時、この構造も画一的なものではなく、様々な試作がされている。この「透明感のある響き」というコンセプトを現代に踏襲するピアノは、ベヒシュタインである。ベヒシュタインの創業者カール・ベヒシュタインは、徒弟時代にブレイエルのドレスデン工場で学び、さらにパリでブレイエルの流れを汲む「クリエールシュタイン」のもとで修業を重ねた。19世紀半ばのベヒシュタイン設立当時に製造されたピアノを見ると、ブレイエルの構造に非常に似ていることが判る。そして、現代のベヒシュタインの響板も、音圧ではなく、響きの鮮明さを優先させる構造となっている。

ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパンのコンクール本選でベヒシュタインを使用する理由は、「ショパン自身が意図したであろう、色彩のコントラストや旋律のダイアログの表現に審査員は耳を傾けたい。」という意味がある。

コンクール概要

日程・会場

予選受付開始 2017年10月1日(日)
予選受付締切 2018年1月20日(土) 締切当日消印有効
本選出場者発表 2018年2月10日(土)予定 予選参加者全員に文書にて通知、ユーロピアノホームページにて結果発表掲載
本選 2018年4月27日(金)、28日(土) B部門(一般部門)、4月29日(日) A部門(ピアノ演奏家部門)
本選会場：汐留ベヒシュタイン・サロン
A・B部門共に本選終了後、会場にて入賞者を発表

部門

1. A部門(ピアノ演奏家部門) 2. B部門(一般部門)

審査方法

1.予選 録画DVDによる審査 審査員：イヴ・アンリ
2.本選 公開コンサート形式 会場：汐留ベヒシュタイン・サロン (東京都港区東新橋2-18-2 グラディート汐留1F)

本選審査員(予定)

イヴ・アンリ (ピアニスト、作曲家、パリ国立高等音楽院教授、2015年ショパン国際ピアノコンクール事前審査員、2016年R.シューマン国際ピアノコンクール審査員、ノアン フェスティバル会長)
海老 彰子 (ピアニスト、日本ショパン協会理事)
河村 初音 (ピアニスト、国立音楽大学准教授)
真嶋 雄大 (音楽評論家、公益社団法人日本演奏連盟専門委員)
飯野 明日香 (ピアニスト、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学、東京藝術大学附属音楽高等学校、各非常勤講師)

参加費(全て税込)

予選：A部門 10,000円 B部門 8,000円 本選：A・B両部門とも20,000円
※会場までの旅費及び宿泊費等は参加者にご負担いただきます。

表彰・賞

ノアン賞：「ノアン フェスティバル ショパン イン フランス2018の参加権利」
～ノアン フェスティバルの公開レッスン4日間の受講と、ノアン フェスティバルの修了演奏会で演奏することが出来ます。～
ショパン・ナイト賞：「ショパン・ナイトの参加権利」
～ショパンの命日である10月16日にノアンにあるお城で演奏することが出来ます。～
ノアンパスポート賞：ノアン フェスティバル ショパン イン フランス2018のコンサートパスポート
ベヒシュタイン賞：アンリ教授のレッスン受講の権利(1回無料)
※各カテゴリーの中で1位から3位を表彰し、表彰状およびトロフィーを授与いたします。
※部門により対象の賞が異なります。詳細は要項をご参照ください。

お申し込みの流れ

①当コンクールの参加申込書と要項を店頭もしくはユーロピアノホームページよりご入手ください。

<https://www.euro-piano.co.jp/nohantfestival2018>

②要項を必ず最後までお読みの上、申込書に**必要事項を全て記入し、顔写真(カラー3cm×4cm)と録画DVD添付の上**、ユーロピアノ株式会社東京ショールームまでご郵送ください。応募方法は「郵送」のみとします。締切当日消印は有効です。

③**参加費**をお振り込みください(要項に記載)。支払期限は2018年1月20日(土)です。支払期限が過ぎた場合は参加資格が取り消しとなりますのでご注意ください。

①～③が全て必要です。

要項の請求
申込書送付先
お問合せ先



ユーロピアノ株式会社 東京本社ショールーム(水曜定休)

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山9-2-1

TEL:03-3305-1211 E-mail:shirakawa@euro-piano.co.jp (担当/佐々木・白川)

主催：ユーロピアノ株式会社/ベヒシュタイン・ジャパン

協賛：Nohant Festival Chopin in France

後援：C. Bechstein Pianofortefabrik AG(ドイツ・ベヒシュタイン本社)

公益財団法人 日本ピアノ教育連盟

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

